

かえる倶楽部タイムズ

特集 「三叉神経痛の診断と治療について」

●三叉神経痛は顔面半側の突発的な強い疼痛で、三叉神経の起始部(Root entry zone: REZ)を正常血管が圧迫することが原因です(図1)。まれに脳腫瘍や脳動脈瘤による圧迫のこともあるので、**適切な診断のためには脳MRI/Aが必須**です。

●治療法として内服治療・手術・定位放射線治療がありますが、**まずは内服治療を試みます**。カルバマゼピンなどの内服薬はかなり有効ですが、ふらつきや眠気などの副作用が問題となることがあります。また、発疹や肝機能障害などが出現した際には、内服薬を中止・変更せざるを得ません。いくつかの内服薬で効果がない場合や副作用が強い場合に、手術や定位放射線治療を考慮します。当科では十分なインフォームドコンセントのうえで治療方針を決定しており、手術を無理に勧めるようなことはしていません。

●手術では、REZから圧迫血管を移動させます(微小血管減圧術:図2)。手術は根本治療で、長期的にも7~9割で症状が改善しています。ただし、全身麻酔下での脳深部の手術になるので、頻度は少ないものの脳神経障害(顔面知覚低下、聴力低下、複視など)が出現することがあります。

●定位放射線治療(ガンマナイフ治療)に大きな副作用はあまりなく、6~8割で有効とされていますが、長期的にはもう少し効果が落ちるようです。なお、当院では定位放射線治療は行っておらず、ご希望の際には施行可能な提携病院へご紹介しております。

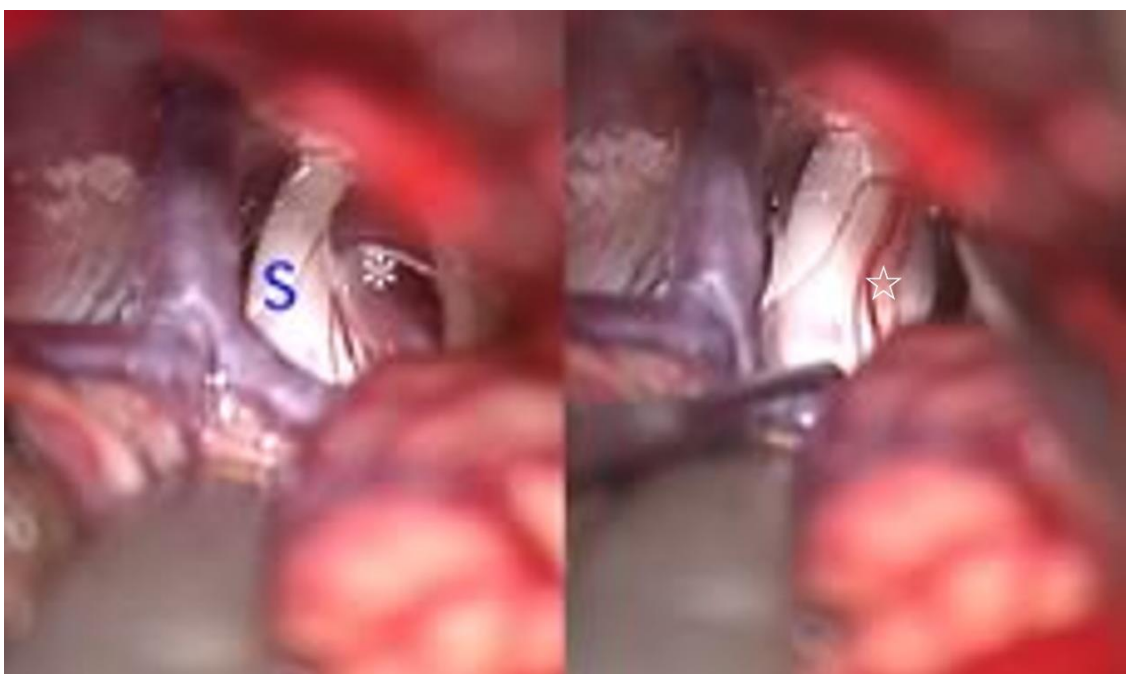



図1
(S:三叉神経, *:圧迫血管)

図2
圧迫血管を移動
(☆:圧迫解除されたREZ)

●先生方の診療におかれまして、三叉神経痛が疑われる患者様に対しては、**地域連携室へご用命いただければ脳神経外科外来担当医が対応させていただきます**。

【連絡先】 平日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00 地域医療連携室 (電話)06-7501-1406
上記以外の時間帯は、代表電話 06-6458-5821 へご連絡下さい。

関西電力病院
 脳神経外科
 部長 **中島 英樹**



日本脳神経外科学会 専門医・指導医
 日本脳卒中学会 専門医・指導医
 日本脳卒中の外科学会 技術指導医
 日本脳神経外科学会近畿支部 学術評議員

お知らせ 「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】
 不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。
 当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)



◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

Facebook




<https://www.facebook.com/kanden.hospital/>

Twitter

https://twitter.com/kanden_hsp